写真はシルバー色の製品です。

Technics®

取扱説明書

オーディオ ミキサー

品番 SH-EX1200

このたびは、オーディオ ミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電　保証書別添付

RQT6017-MS

主な特長

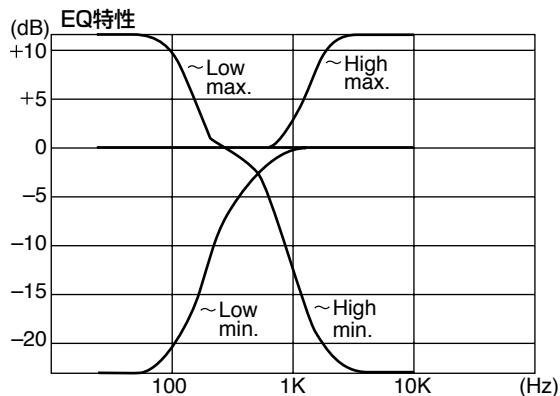
本機は全世界のプロDJ（ディスクジョッキー）が腕を競う、DMC主催“WORLD DJ CHAMPIONSHIP”の’97年度以降の公認ミキサーとして認定されており、多様なスクラッチパフォーマンスを行うDJのご要望に応え、デザイン・機能・音質などに大変優れたオーディオミキサーとなっています。

操作性の特長

- 操作性を考慮し、本機の高さはSL-1200MK3D、SL-1200MK4と同一にしています。
- チャンネルフェーダーとクロスフェーダーの周辺のパネルレイアウトは、十分なスペースを確保すると共に、突起物をなくしたことにより、激しいスクラッチプレイにおいても思う存分テクニックを発揮できます。

機能の特長

- あらゆるサウンド・ソースにも対応し、クリエイティブなサウンドプレイを実現するために、HIGHとLOWのEQ（イコライザー）を装備しています。しかも減衰量を－24 dB（12 dB/oct）と大きく設定していますので多様な音創りが可能です。（右図参照）
- ソースレベル差を補正するTRIM（±10 dB）を装備しました。
- 光方式クロスフェーダー回路を採用することにより、クロスフェーダーの寿命が飛躍的に向上しました。
- クロスフェーダースイッチを装備することにより、クロスフェーダーのCH入力を反転切換えし、フェーダーの逆操作選択を可能としました。

- プリフェーダーモニターを装備することにより、[MONITOR CUE]つまみで選択したチャンネルが、フェーダーのポジションに関係なくモニターできます。また、ラインアウトのソースをミックスしてモニターすることも可能としています。
- モニターはヘッドホンだけでなく、ブース内でスピーカーモニターもできるように、モニター用のラインアウト端子も装備しています。
- 3連のレベルメーターを装備することにより、ラインアウトソースのLch、Rchレベルと、モニターソースにおける12点のレベルが確認できます。
- [AUX IN]端子が装備されており、サンプラーやキーボードなどもDJシーンに活用することができます。

構造・素材の特長

- 高い耐久性と、滑らかな操作感を実現した45 mmストロークのフェーダーを新たに開発し、搭載しました。
- 万一の場合に備え、チャンネルフェーダーのスペアを1個本機の底カバーに装備し、簡単にフェーダーを交換できる構造になっています。
- インプット切換つまみ（LINE、PHONO）にはレバースイッチを採用し、周辺に十分なスペースを確保することにより、トランスホーマー・スクラッチ機能操作用としても使用可能としています。

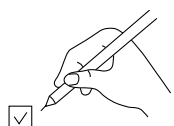
D M C

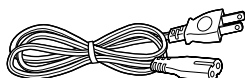
インターネット アドレス
(http://www.dmcworld.com)

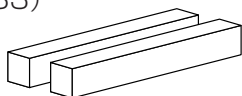
DMCとは
世界のトップDJや、ミュージシャン、プロデューサーからなる世界最大のDJ組織で、彼ら自身の音楽創造の向上に寄与することを目的につくられました。イギリス（ロンドン）とアメリカ（ニューヨーク）に拠点を置いて支部を世界32ヵ国に持っており、世界売上げトップのダンスミュージック専門誌「MIX MAG」を発行するなどの活動を通して、1987年より連続で **Technics**® の協賛のもと、“WORLD DJ CHAMPIONSHIP”を主催しています。各国での大会を勝ち抜いたDJが、ワールドチャンピオンを目指して世界32ヵ国から集まり、熱く激しいバトルを繰り広げています。

ご使用の前に

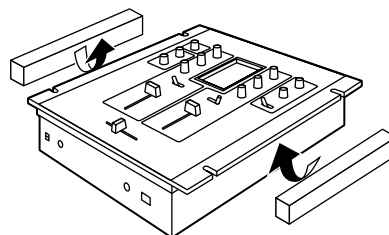
もくじ

付属品

まず最初に付属品を確かめてください。

□ 電源コード......1 本
（品番：RJA0059-J）

お願い
付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

□ サイドパッド......2個
（品番：RFE0083）

□ ステッカー......1 枚

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　　）内は買い替え時の品番を表します。

■**サイドパッドの取り付けかた**
必要に応じて、本機パネルの両サイド下面に両面テープをはがして貼り付けてください。
• レコードプレーヤーなどへの乗り上げが防げます。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

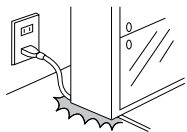
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

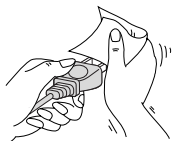
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

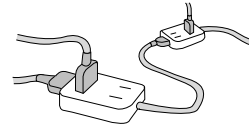
⚠警告

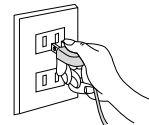
電源コードについて

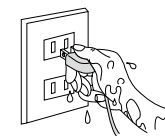
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

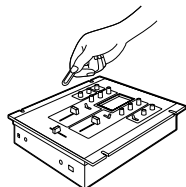
コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

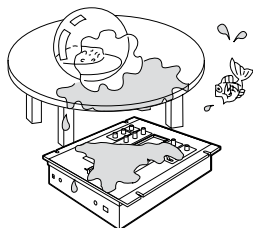
電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

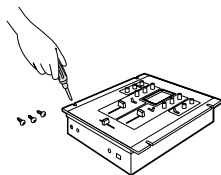
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

⚠警告

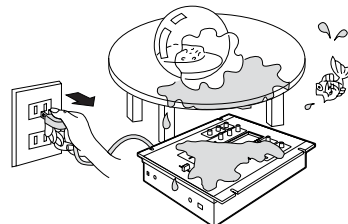
ご使用について

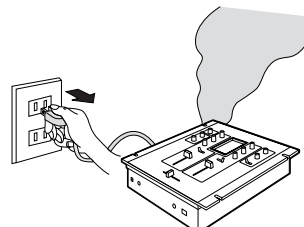
機器内部に金属物を入れない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器を置かないでください。

分解、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

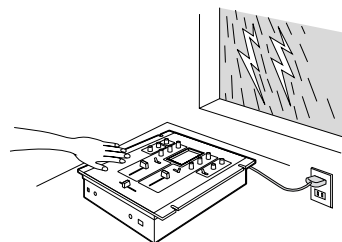
機器内部に金属や水、異物が入ったら、電源プラグを抜く

- 機器は電源プラグが容易に引き抜けるように設置してください。
- POWER（電源）ボタンがOFFでも、機器には通電されていますので、異常が起こったら電源プラグを抜いてください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは電源プラグを抜く

- 機器は電源プラグが容易に引き抜けるように設置してください。
- POWER（電源）ボタンがOFFでも、機器には通電されていますので、異常が起こったら電源プラグを抜いてください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

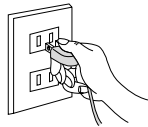
雷について

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない

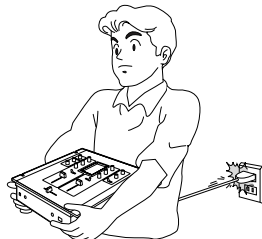
- 感電の恐れがあります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠注意

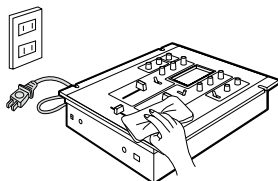
電源コードについて

電源コードの抜き差しは電源プラグを持つ

- コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりして、火災や感電の原因になることがあります。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く

- 入れたままにしておくと、感電の原因になることがあります。

ご使用について

電源を入れる前に、音量を絞る

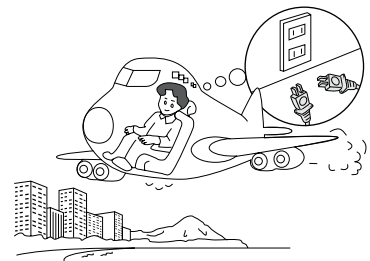
- 突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

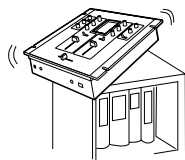
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

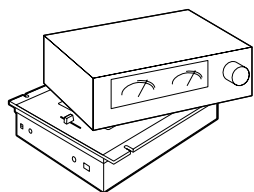
機器に乗らない

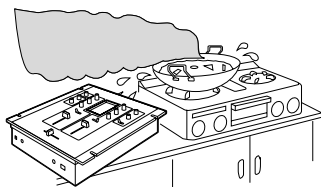
- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

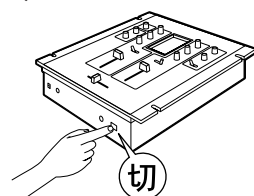
長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく

⚠注意

設置／接続について

不安定な場所に置かない

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

機器の上に大きいものや重いものは載せない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや、湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

接続前に、本機と、接続する機器の電源を「切」にしておく

- 「入」の状態で接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

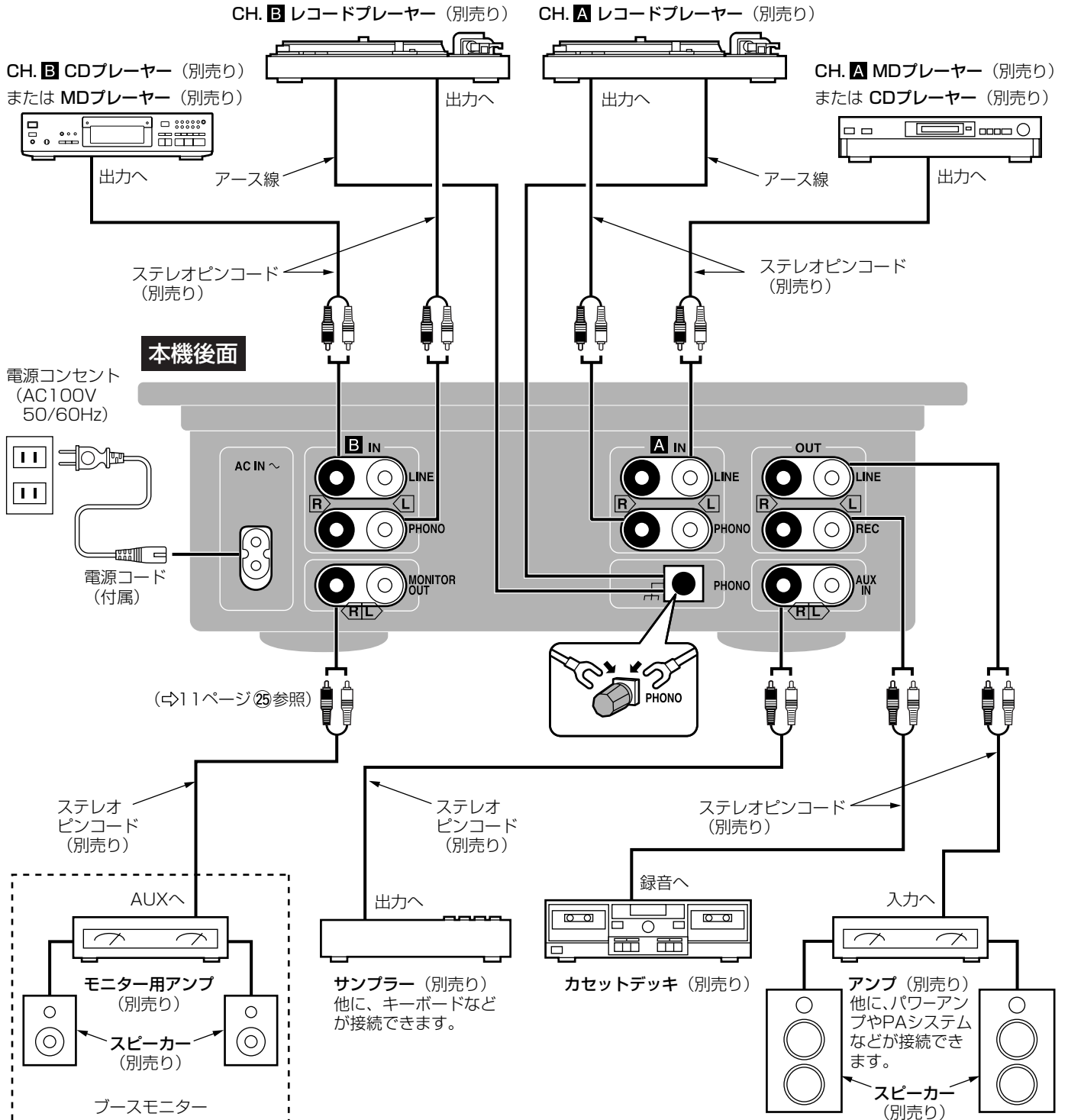
- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

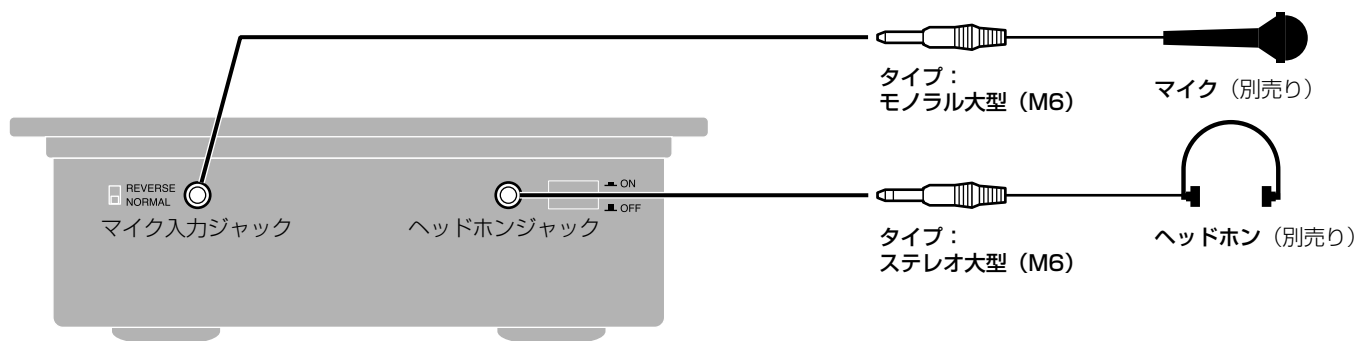
接続

後面の接続

ステレオピンコード（別売り）で本機と各機器を接続します。接続時には必ず各機器の電源を切ってください。
電源コードの接続は、全ての接続が終わった後に行ってください。

ステレオピンコードの接続は
白色は左（L）端子へ
赤色は右（R）端子へ

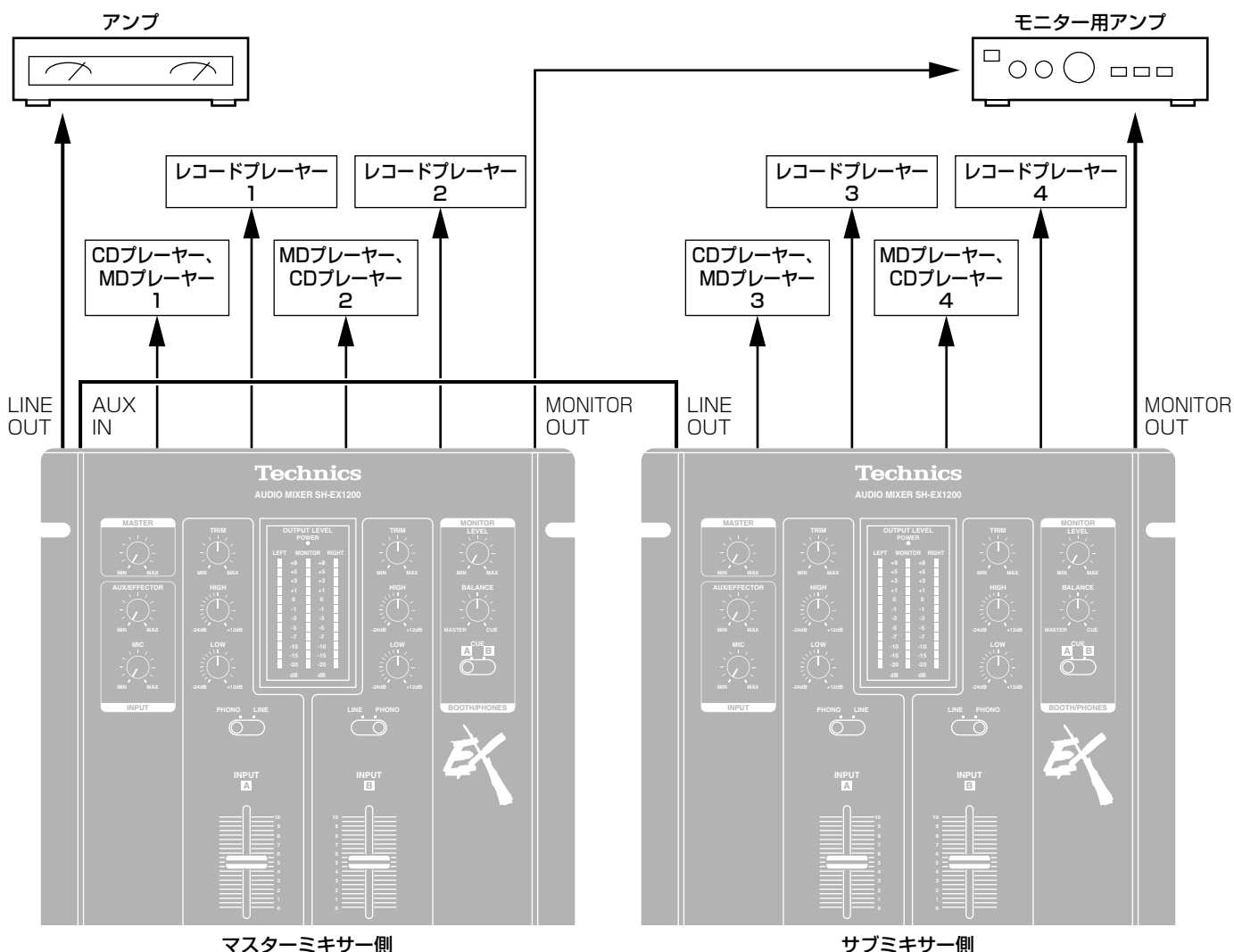
ご参考
アース端子およびアース線のないレコードプレーヤーの場合、アース線の接続は不要です。

お知らせ
関連する別売り品の一部は裏表紙の「別売り品のご紹介」をご参照ください。

前面の接続

■ヘッドホンで聞くときは

- [MONITOR LEVEL]つまみなどで、必ず音量を絞ってから接続してください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

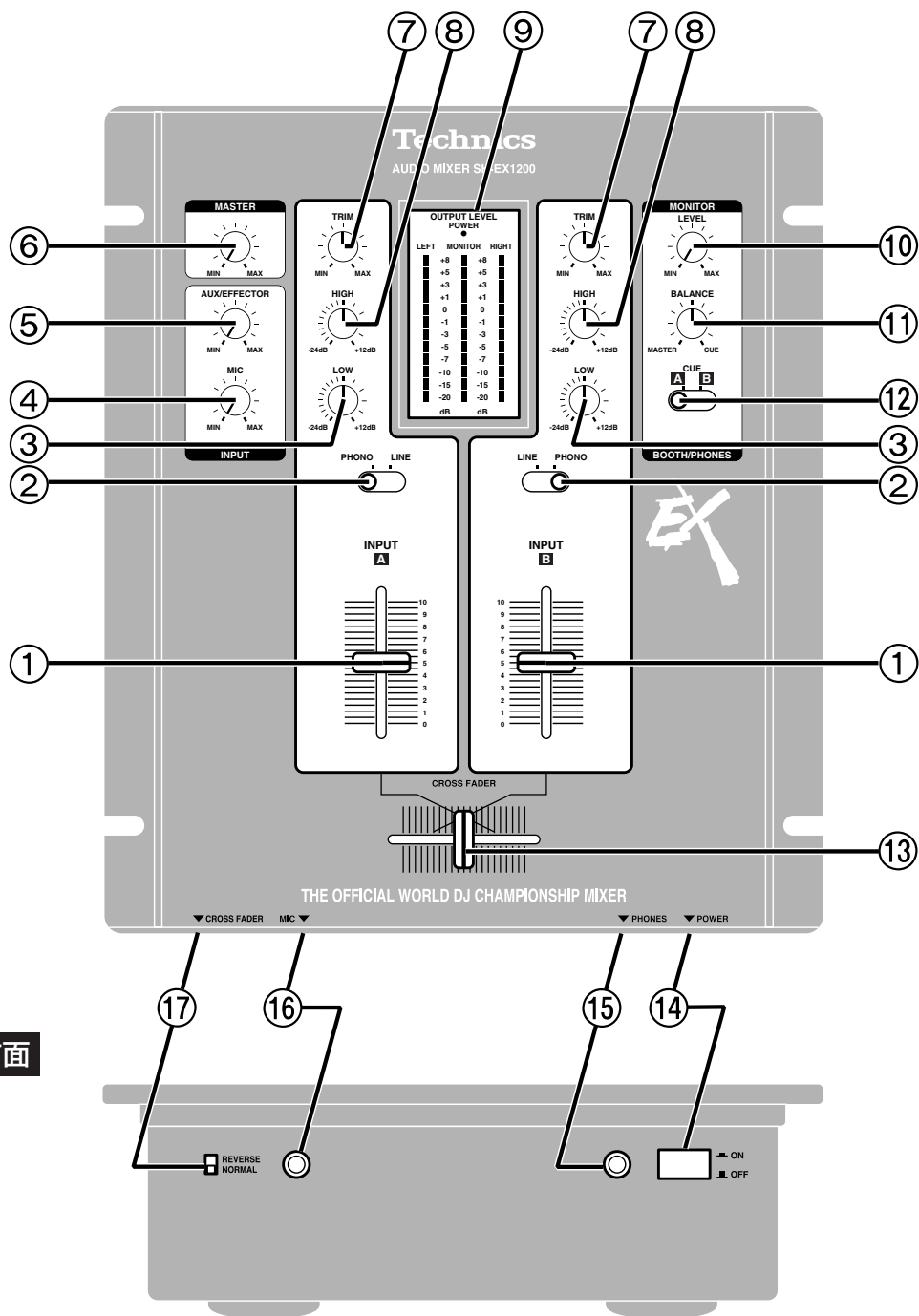
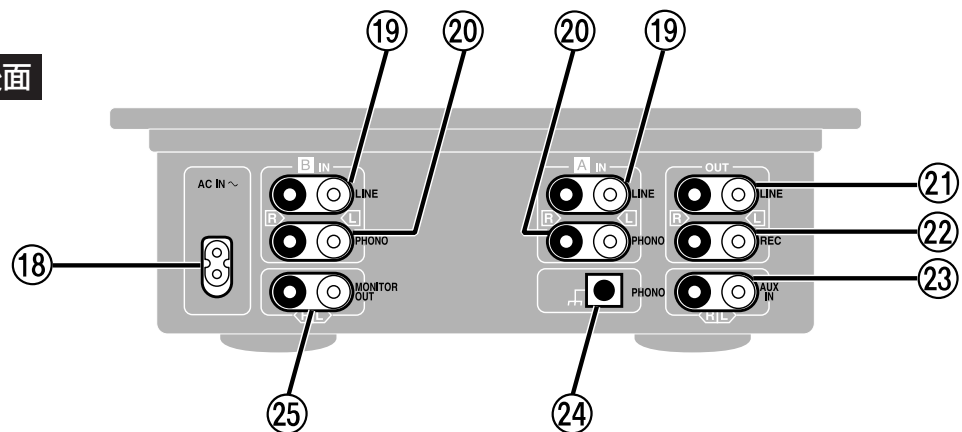
本機を 2 台連結接続する場合

マスターミキサーの[AUX IN]にサブミキサーの[LINE OUT]を接続します。

アンプ
モニター用アンプ
レコードプレーヤー 1
レコードプレーヤー 2
レコードプレーヤー 3
レコードプレーヤー 4
CDプレーヤー、MDプレーヤー 1
MDプレーヤー、CDプレーヤー 2
CDプレーヤー、MDプレーヤー 3
MDプレーヤー、CDプレーヤー 4
LINE OUT
AUX IN
MONITOR OUT
LINE OUT
MONITOR OUT
Technics
AUDIO MIXER SH-EX1200
マスターミキサー側
サブミキサー側

■2台（マスターミキサーとサブミキサー）のレベルの合わせかた

2台のレベルが合うようにマスターミキサーの[AUX/EFFECTOR]音量レベルと、サブミキサーの[MASTER]音量レベルを調整します。

各部のなまえ

Technics
AUDIO MIXER SH-EX1200
MASTER
AUX/EFFECTOR
MIC
INPUT
TRIM
HIGH
LOW
MIN
MAX
-24dB
+12dB
PHONO
LINE
OUTPUT LEVEL
POWER
LEFT
MONITOR
RIGHT
MONITOR LEVEL
BALANCE
MASTER
CUE
BOOTH/PHONES
INPUT A
INPUT B
CROSS FADER
THE OFFICIAL WORLD DJ CHAMPIONSHIP MIXER
CROSS FADER
MIC
PHONES
POWER
本機前面
REVERSE
NORMAL
ON
OFF
本機後面
AC IN ～
B IN
A IN
OUT
LINE
PHONO
MONITOR OUT
REC
AUX IN
R
L

① A（B）INPUT（チャンネルフェーダー）つまみ

② A（B）PHONO、LINE（インプット切換）つまみ

③ A（B）LOW（低音域レベル）つまみ

④ MIC（マイク音量）つまみ

⑤ AUX/EFFECTOR（オークス／エフェクター音量）つまみ

⑥ MASTER（マスター音量）つまみ

⑦ A（B）TRIM（入力感度）つまみ

⑧ A（B）HIGH（高音域レベル）つまみ

⑨ OUTPUT LEVELメーター
[LINE OUT](Lch, Rch)と[MONITOR OUT]の出力レベルを表示します。

⑩ MONITOR LEVEL（モニター音量）つまみ

⑪ MONITOR BALANCE つまみ
[LINE OUT]のソースと、[MONITOR CUE]つまみで選択したソースの、バランス調整をします。

⑫ MONITOR CUE A、B（ソース切換）つまみ
ヘッドホンおよびモニターの出力はフェーダーのポジションにかかわりなく、CH (A、B)のソースが選択できます。

⑬ CROSS FADER つまみ
CH. AとCH. Bの入力をミキシング出力したり、片側チャンネルのみ出力する調整ができます。

⑭ POWER（電源）ボタン

⑮ PHONES（ヘッドホン）ジャック

⑯ MIC（マイク入力）ジャック

⑰ CROSS FADER スイッチ
[CROSS FADER]つまみ⑬のCH(A、B)入力を反転切換えします。
NORMAL：パネル表示の通り出力します。
REVERSE：パネル表示とは反転して出力します。

⑱ AC IN ～（電源入力）端子

⑲ A（B）LINE IN 端子

⑳ A（B）PHONO IN 端子

㉑ LINE OUT 端子

㉒ REC OUT 端子

㉓ AUX IN 端子

㉔ PHONO（アース）端子
ハム、ノイズを防ぐためレコードプレーヤーのアース線は必ずこの[PHONO]アース端子に固定してください。

㉕ MONITOR OUT 端子
この端子は、ヘッドホンと同じ信号が出力されています。独立したDJブースなどで、ヘッドホンを使わずにスピーカーでモニターする場合は、モニター用アンプを接続してください。
通常の出力用アンプは、[LINE OUT]端子㉑に接続してください。

[MONITOR BALANCE]つまみの使い方

[CUE]（右いっぱい）の時

- この状態が、従来の一般的なDJミキサーのモニターと同じはたらきになります。
- [MONITOR CUE]つまみ⑫で選択したCH（A、B）の音が、[INPUT]チャンネルフェーダーつまみ、[CROSS FADER]つまみのポジションにかかわりなくモニターできます。

[MASTER]（左いっぱい）の時

- [MONITOR CUE]つまみでの選択は、関係なくなります。
- [LINE OUT]端子㉑から出力されている音が、モニターできます。

センターの時

- [MONITOR CUE]つまみ⑫で選択したCH（A、B）の音と[LINE OUT]端子㉑から出力される音をミックスしてモニターできます。

準備

お知らせ

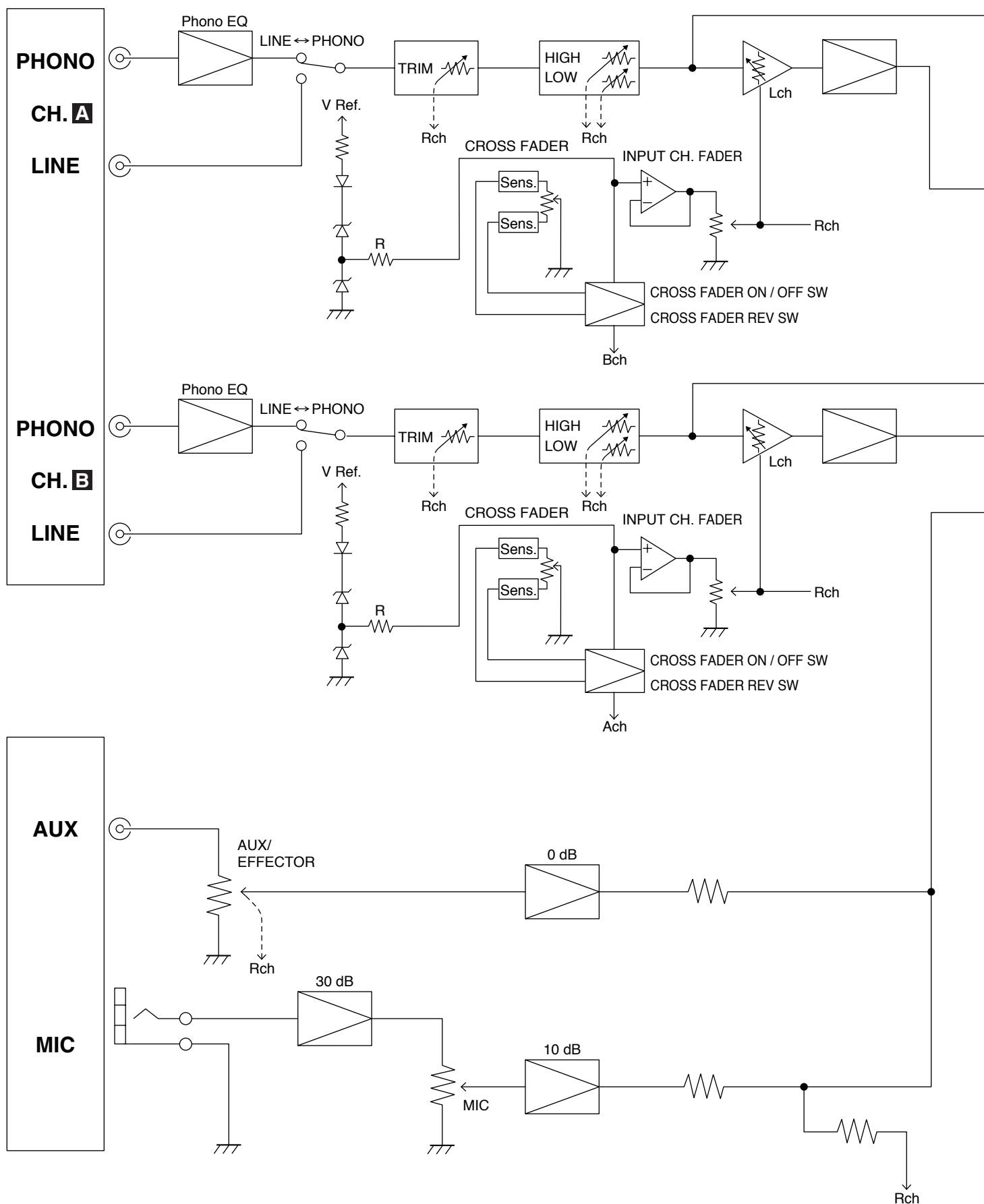
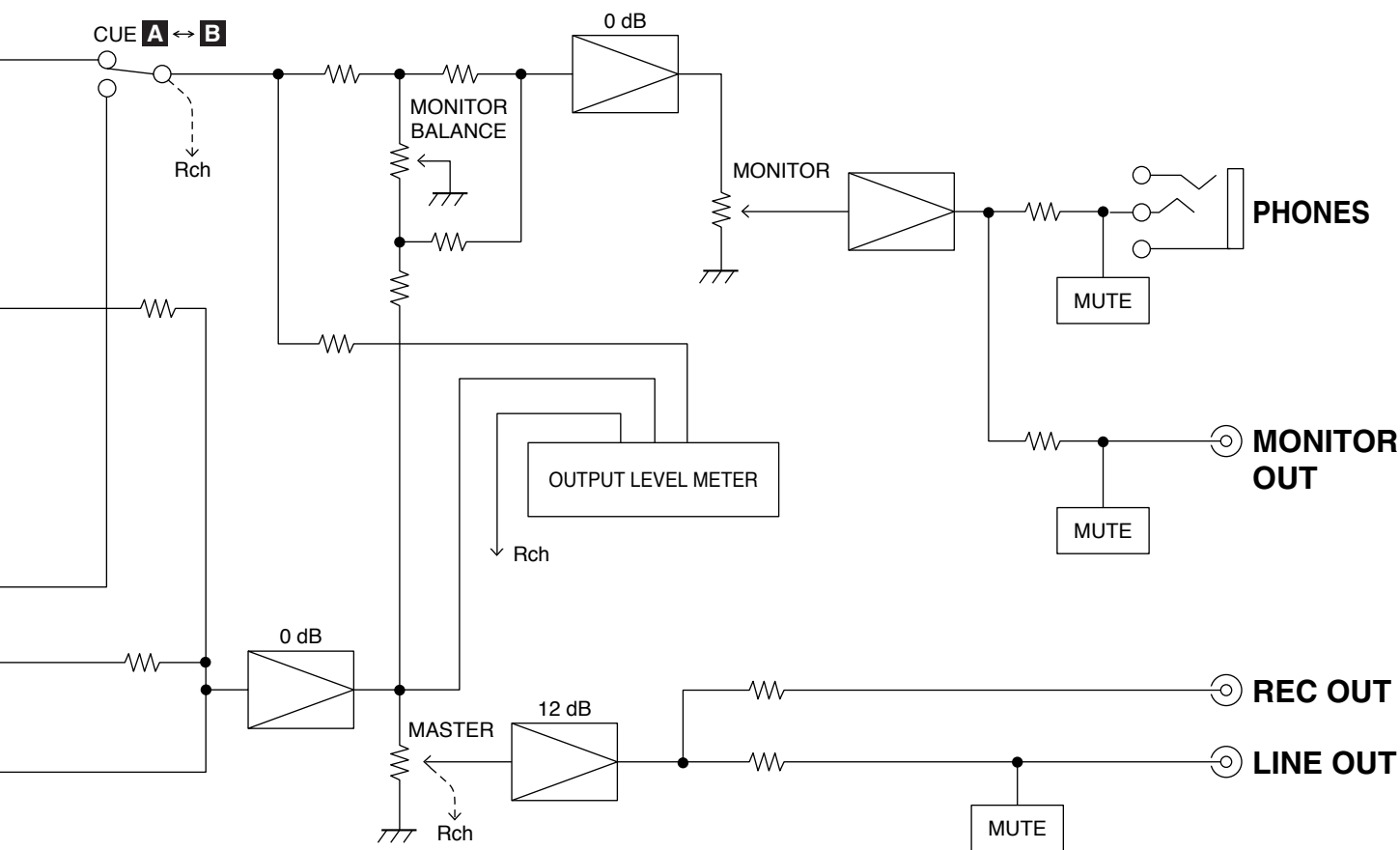
本機に使用しているチャンネルフェーダーは、高寿命設計となっていますが、使用方法によっては（Hip-Hopのトランスファープレイなどで、高速、頻繁に操作したような場合）、一ヵ月程度で交換する必要が生じる場合があります。このため、予備のチャンネルフェーダーを1個本機の底カバー内に備えています。

- チャンネルフェーダーを交換する際は添付の「チャンネルフェーダー交換説明書」をよくお読みください。
- 万一クロスフェーダーが故障した場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

チャンネルフェーダーの買い替えは
チャンネルフェーダー（品番：RFKVHDX1200B）

- 買い替えはお買い上げの販売店へご相談ください。
- （　　　）内は買い替え時の品番を表します。

ブロックダイアグラム

PHONO
CH. A
LINE
Phono EQ
LINE ↔ PHONO
TRIM
HIGH
LOW
Lch
Rch
Rch
V Ref.
CROSS FADER
INPUT CH. FADER
Sens.
Sens.
R
Rch
CROSS FADER ON / OFF SW
CROSS FADER REV SW
Bch
PHONO
CH. B
LINE
Phono EQ
LINE ↔ PHONO
TRIM
HIGH
LOW
Lch
Rch
Rch
V Ref.
CROSS FADER
INPUT CH. FADER
Sens.
Sens.
R
Rch
CROSS FADER ON / OFF SW
CROSS FADER REV SW
Ach
AUX
AUX/
EFFECTOR
0 dB
Rch
MIC
30 dB
10 dB
MIC
Rch

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
電源が入らない。	電源プラグがはずれていませんか。	確実に差し込む。	8
電源を入れても音が出ない。	インプット切換つまみを他のソースにしていませんか。	ソースを確かめ、正しい位置にする。	10~11
	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。	8~9
	マスター音量ほか、各音量つまみがMINになっていませんか。	各音量つまみを正しく調整する。	10~11
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。	8
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具やその電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。	—
	レコードプレーヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線を正しく接続する。	8
フェーダー（スライドボリューム）の動きが悪い。	フェーダーが消耗していませんか。	新しいフェーダーと交換する。（別添付のチャンネルフェーダー交換説明書を参照してください。）	11

ご使用について

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、オーディオ ミキサーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

13ページの表「故障かな!?」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	オーディオ ミキサー
品番	SH-EX1200
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地区	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地区	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

地区	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

地区	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地区	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地区	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地区	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地区	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

主な仕様

■入力感度／入力インピーダンス

PHONO	1.5 ～15 mV/47 kΩ
LINE	100 ～1000 mV/10 kΩ以上
AUX/EFFECTOR	150 mV/47 kΩ
MIC	0.7 mV/1 kΩ

■定格出力電圧

LINE	1 V/600 Ω
MONITOR	2 V/2.2 kΩ
PHONES	1.5 V/100 Ω
REC	1 V/2.2 kΩ

■最大出力電圧（ヘッドホンを除き負荷10 kΩ）

LINE	8 V
MONITOR	8 V(ヘッドホン オープン)
PHONES	1.5 V/100 Ω
REC	8 V

■トーンコントロール特性　12 dB/oct

LOW	＋12 dB, －24 dB(63 Hz)
HIGH	＋12 dB, －24 dB(10 kHz)

■残留ノイズ　0.2 mV以下

■周波数特性

PHONO	30 Hz ～15 kHz(RIAA±1 dB)
LINE	10 Hz ～70 kHz(－3 dB)
AUX/EFFECTOR	10 Hz ～100 kHz(－3 dB)
MIC	100 Hz ～15 kHz(－3 dB)

■適合負荷インピーダンス

LINE	600 Ω以上
MONITOR	10 kΩ以上
PHONES	47 Ω以上
REC	10 kΩ以上

■総合

電源	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力	14 W
寸法(幅×高さ×奥行)	260 ㎜×102 ㎜×305 ㎜
質量	約 3.5 kg

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

別売り品のご紹介（2001年7月現在のものです。品番は変更されることがあります。）

• レコードプレーヤー	SL-1200MK3D SL-1200MK4
• アンプ	SU-A707、SU-A808
• スピーカー	SB-M300M2
• マイク	RP-VK120
• ヘッドホン	RP-DJ1200、RP-DJ700
• ステレオピンコード	RP-CA34A（1.0 m）
• DJ用ステレオカートリッジ	EPC-U1200
• ステレオカートリッジ交換針	EPS-1200CS
• スリップシート	RP-WA1200

愛情点検　長年ご使用のオーディオ ミキサーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	SH-EX1200
	販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

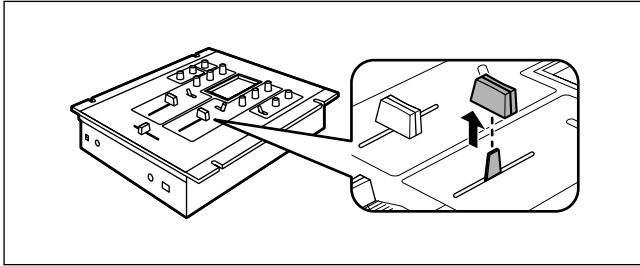
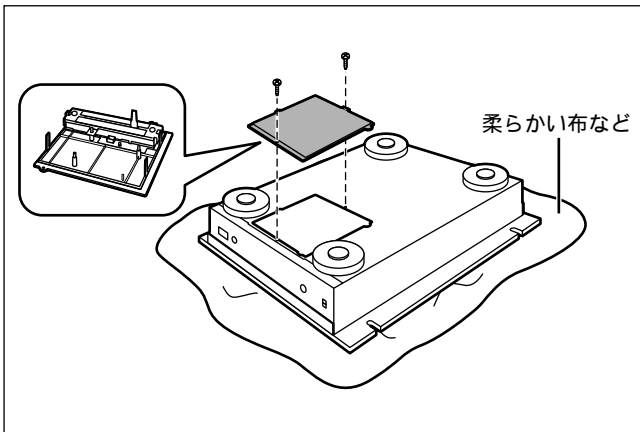
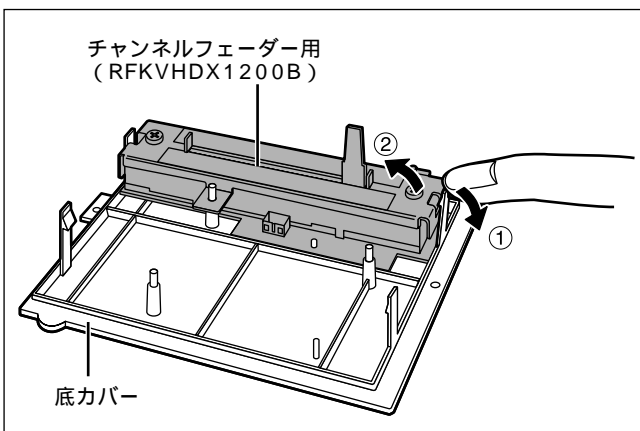
パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

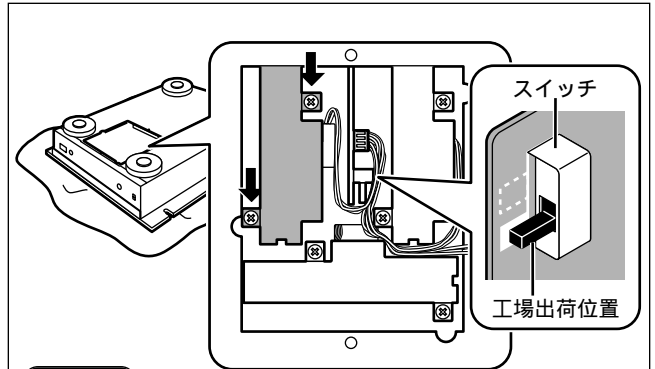
RQT6017-MS
M0701TK5098

Technics®

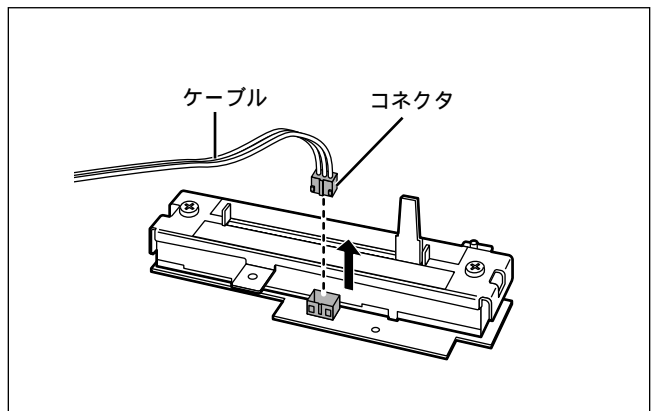
オーディオ ミキサー　チャンネルフェーダー交換説明書

本機の底カバー内にあらかじめ、交換用のチャンネルフェーダー（1個）を装備しています。万一フェーダーの動きが悪くなったときは、下記の手順に従って交換を行ってください。

1 交換するチャンネルフェーダーのつまみを外す

2 底面を上にし、底カバーを外す
（ビスを2本外す）

3 交換するチャンネルフェーダーを外す
●新しいチャンネルフェーダーの外しかた

●古いチャンネルフェーダーの外しかた

❶ ビスを2本外し、チャンネルフェーダーを取り外す

お願い

スイッチは工場での調整用のため、切換えないでください。

❷ 交換するチャンネルフェーダーのケーブルを、コネクタを持ちながら外す

4 新しいチャンネルフェーダーを取り付ける
（取り外しと逆の手順で取り付ける）

5 底カバーを取り付ける

6 つまみを取り付ける

RQCA0871 M0701TKO